

公卿補任

卷六

延喜

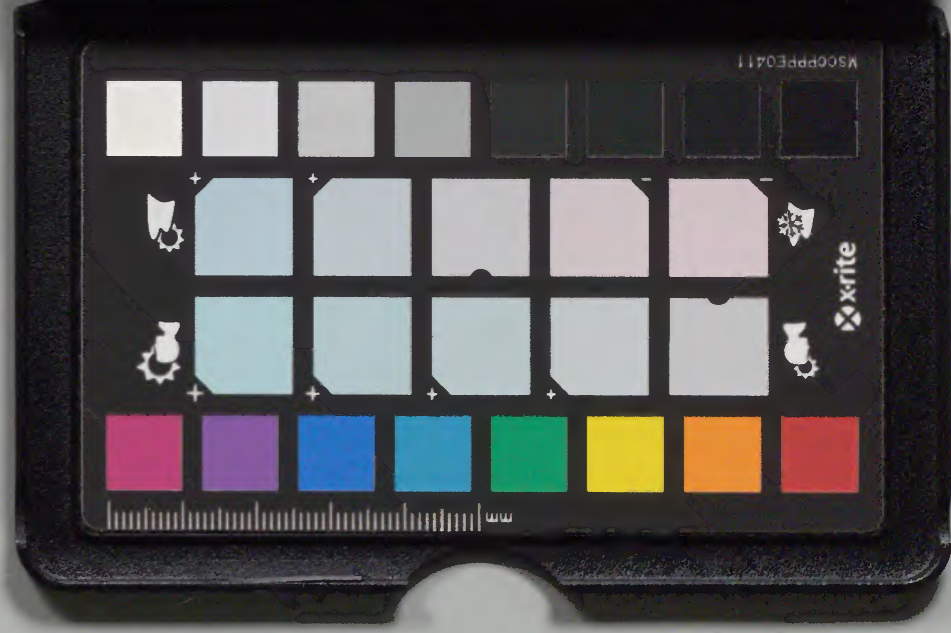
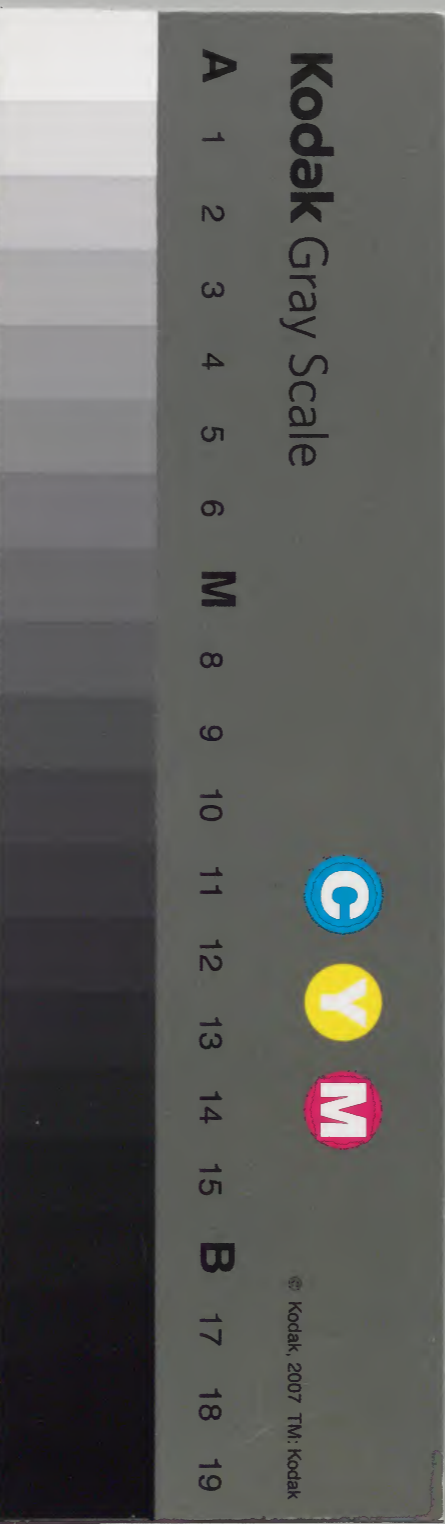
仁和

延喜

寛平

昌泰

内閣文庫		和
番號	和 15586	書
冊數	73( 6)	
函號	146 764	







崇多天王

和四

同五

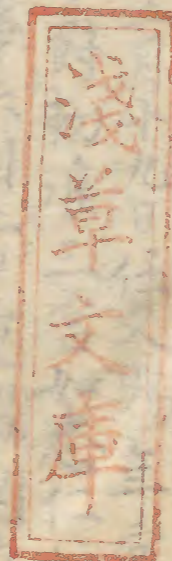
寬平

寬平二

同三

同四

右 同五 同六 同七 同八



御實紀調所

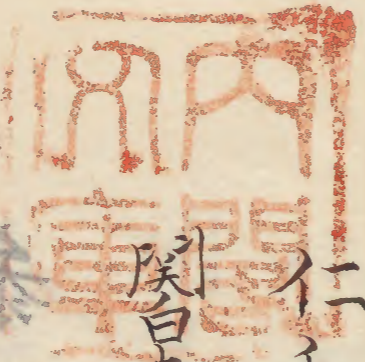
隱岐

後醍醐天皇 爲御親王 爲宣命 總一

十七日 亮 年 下 藤原 諸 爲 宣命 總一



續景記云  
仁明天皇御  
出家日源多  
出家者如何



仁和四年 戊申

關白大臣 從一位

藤基經

二月十九日任又賜年官年  
爵勅准三宮如忠仁公日  
事六月二日重賜關白詔  
依阿衡事也

左大臣 從一位

源融

右大臣 正二位

同多

左大将十月十六日受病

中務言 從三位

同多

十七日薨年五十八 在官七  
年廿一日遣叅議正四位  
下藤原諸葛治部大  
捕

大納言 正三位

同多

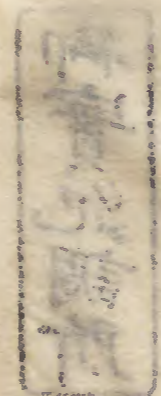
從四位下 橋朝臣 休薩 為宣命 贈從一位

同正 同六 同七 同八

同正 同九 同十 同十一 同十二 同十三 同十四 同十五 同十六 同十七 同十八 同十九 同二十



仁明天皇





生年天長八年辛亥

大納言 正三位 藤良世 右大將太皇太后大夫

中納言 從三位 源能有 九月九日兼民部卿辭  
左工門督者別当如元

藤山蔭 民部卿二月四日薨六十八  
以勞五年奏一太弁八年

中納言三年

參議 從三位 源冷 九月九日任左工門督十  
月十七日卒可尋問是

源是忠 按察使 光閣被座

仁和五年

心四位上 藤有實 左中將備前權守十月  
廿五日正四位上

源直 右中將橋廣權守十一月  
廿五日正四上

正四位上 橋廣相 文章博士左大弁二月十日  
兼近江守侍十月廿五日正四位上

正四位下 藤諸葛 備前權守 右工門督

同國經 皇太后官大夫

源光 左兵衛督仁和四年三月  
七日相摸播磨守五年正

月二日兼備中權守

致仕前大納言正三位 藤冬緒



致仕前中納言正三位 在行平

大納言正三位

中納言正三位

左大臣正一位

右大臣正一位

左大臣正一位

右大臣正一位

左大臣正一位

仁和五年配

四月廿六日為寬平元年

關白大臣正一位

藤基經 土月十九日聽腰輿幸吉

左大臣正一位

源融 土月十九日勅聽采輦車出入宮中 辛八廿日

式部卿本康親王同聽之

大納言正三位

藤良世 正月十六日博左近大將

中納言正三位

源能有 氏部卿十六日兼右近大將 卯如元二月八日使別

当如元四月日兼東宮傅

參議正三位

源冷 正月十六日兼美乃權守 二月廿九日兼美乃



守左工門督如元

源是忠 按察使

正四位上

藤有実 左中將 備前權守

正四位上

源直 二月廿日兼刑部卿守

橘廣相 左大弁近江權守

正四位下

藤諸葛 右工門督 備前權守

同因經 二月廿日兼近江權守

源光 正月二日兼備中权守左兵工督  
正月十六日兼備中权守

参議

寶龜五年五月五日八人 但清河以前負

數不定也同六年九月廿七日又八人同

七年六人同十年又八人同十一年六月

十人延曆元年尚十人今二年八人同三

年六人同四年五人以後不定同十五年



又八人其後又不定 或三人或四人

兼和十一年又八人 入公二年八人同三

十年六人同十人 又八人同十人

兼和十一年同六年 十月廿八日八人同

寶龜元年正月五日 同

兼和 正和元年 同

寬平二年 庚戌

藤原基經 二月十九日准三官有勅書

太政大臣 從一位

藤原基經 二月十九日准三官有勅書

左大臣 從一位

源融 式部省中納言

大納言 正三位

藤原良世 左將十月服解十二月遷

中納言 從三位

源能有 右大將 皇太子傳 按察使 正月七日 叙正三位

參議 從三位

源冷 左門督 二月廿五日薨 年六十 生年永和三二年乙卯

源是忠 九月廿日兼左門督



正四位上

源直

十月廿一日兼右三門督  
因九月廿日兼左大兵

藤有實 左中將

橘廣相

左大兵 近江守 五月十六  
年 辛巳 生年 兼

大納言 五三位

新身世

和四年丁卯 同日贈  
中納言 送三位

正四位下

源光

左兵工督 備中權守

大納言 五二位

藤諸葛

備前權守 右三門督

貞平二年 庚

藤因經

皇太后宮大夫 近江權守

非參議 年時

藤時平

大政大臣 從二位

藤基

五月廿三日 兼左大兵

左大臣 從一位

源

兼左大兵

右大臣 五三位

藤良世

兼左大兵

大納言 正三位

藤

兼左大兵

中納言 從三位

源

兼左大兵



非參

寬平三年

辛亥

太政大臣 從一位 藤基經

正月十三日薨年五十六詔贈  
正一位階對越前國謚日昭宣  
公号堀川太政大臣生年永和  
三年丙辰

左大臣 從一位 源融

右大臣 正三位 藤良世

三月十九日任右大臣左大將如  
元同廿九日為氏長者

大納言 正三位 源能有

三月十八日任年四十七按察  
使如元右大將皇太子  
傳

中納言 從三位 源是忠

三月十九日任左大將  
元年二十五年七月廿三日為



中略言

使別當十二月廿九日改為

親王叙三品

送三位 源 光四七 三月十九日叙送三位超二人

藤諸葛 三月十九日任叙送三位超二人

叅議 後三位 同時平 年二十四月十日兼右工門督

太政大臣基經一男

母四品彈正尹人康親王女

仁和二年正月二日壬午太政大臣弟一

息時平於仁壽殿如加元服 年十六歲 天皇

小松帝 自手取冠加其首令藏人生殿助

送五位 下藤原未兼理髮即授時平正五

位下其告身天皇神筆書黃紙以賜之勅

叅議左大弁橋楠廣相作告身文其所頂冠

中皆是服御之物也公卿大夫會太政

大臣臈院直廬補駕宴飯雅樂察舉

音樂賜五位已上祿各有差同廿日庚子

太政大臣献物飯六十積酒六十正奠



六十念菜六十正納衣物韓檀士合置陳  
於仁壽殿東庭供御器物金銀華羨深竹  
備羨清和太上皇弟八皇子負教親王及  
四位已上子童少者十評人先是教習此  
日於儻群臣欲洽通霄樂飲賀時平朝臣  
加冠并爵也宴罷之後賜時平御衣一襲  
廿一日勅聽負教親王帶釵親王昨儻散  
午其舞裝束帶釵執光故特賜之親王云

仁和二年正月二日壬午叙正五位下三  
年正月七日叙從四位下即聽禁色昇殿  
重禁色同年二月十七日任右近權中將  
五年正月十六日兼讚岐權守寬平二年  
正月七日叙從四位上同月服解二月復  
任同年十一月廿九日叙從三位超一階  
同三十一十九一任叅議兼因如元

從三位 源 直

左大弁 四月十日兼  
民戶心弁如元



正四位下 藤有実

左中将

正四位下 同国経

皇太后宮大夫

正四位下 源興基

仁和天皇孫

人康親男<sup>五</sup>

母

貞觀八正七叙從四位下十三正廿九任

播磨權守十六正七從四位上十八二十五

任彈正大弼十九年正月十五日任左馬

頭元慶四年七月七日兼伊勢守五年十

二月十三日任左近衛權中將六年二月

二日兼備前守八年十一月廿五日叙正

四位下仁和三年正月廿二日聽禁色衣

服二月三日兼伊勢權守寬平三年三月

十九日任叅議四月十一日兼官内卿九

月十日卒



月十日

十日

十一日

十二日

十三日

十四日

十五日

十六日

寬平四年 延 同天皇

左大臣 延一位 源 融

右大臣 正三位 藤良世 左大將

大納言 正三位 源能有 右大將 五月十日始奏弁官 事先例無此事

中納言 延三位 源 光 二月廿日兼民了卿

五位 延三位 藤諸葛

參議 延三位 同時平 二月廿日兼左工門督 五月廿日為使別當

正四位上 源 直 正月廿三日 兼越前守 二月廿二日 兼右工門督



正四位上

止右守民了卿

藤有実

右近中将 五月十日  
兼大皇太后宮大夫

正四位下 藤国経 皇太后宮大夫

送四位上 同保則

中納言 送三位乙 穀孫 左兵卫 佐正

五位下 貞雄男

母左中辨 安倍弟富女

齊衡二年二月任治部少丞三年正月丙

辰民部大丞 天安二年任兵部少丞 貞寬 親

元十二世一轉大丞 五十二任式部小丞

八正月七日叙送五位下 同月十三任備

中權 十三年正月七日叙送五位上 治

同月廿九日任備中守 十六日正月十

五日任備前權守 十八日正月十四日任

右衛門權佐 同年二月十五日任民部大

南十九日正十五日任右中守 元慶二



年五月四日叙正五位下同日兼出羽權  
守三年正月十一日為出羽守五年七月  
十六日兼播磨權守六年正月七日叙從  
四位下仁和二年三月兼讚岐權守仁和  
三年二月二日任伊予守八月廿二日任  
太宰大貳十一月十七日叙從四位上寬  
平三年四月十一日任右大弁四年四月  
廿八日任參議弁如元

寬平五年癸未同天皇四月十二日立太子醍醐

左大臣從一位源賴朝七十二

右大臣正三位藤良世七十二  
正月廿日叙從二位二月廿日停左大將

大納言正三位源能有共  
正月十日兼按察使

中納言從三位源賴光  
年世九二月廿二日兼左大將  
以督止民令卿三月為使別當

從三位藤諸葛六十九

從三位同時平  
二月十六日任同廿二日兼  
右近大將廿三四月二



日兼春<sup>一</sup>實<sup>宮</sup>大夫

叅議正四位上源直<sup>六十四</sup>右衛門督越前權守

正四位上藤有實<sup>世六</sup>左中將

正四位下同因經<sup>六十六</sup>皇太后宮大夫

同保則<sup>六十九</sup>左大將正月十一日兼近江權守二月廿六日兼民了卿

源貞恒<sup>世八</sup>從四位上

仁和天皇第十皇子

元慶七年正月七日叙從四位下無位八年

五月廿六日叙從四位上<sup>一世</sup>源氏九年正

月十六日任美濃守寬平二年正月廿八

日任右近衛中將三年正月廿日兼備前

權前<sup>前</sup>守四月十一日兼左兵二督五年

二月十六日任叅議<sup>前</sup>守如元

禁色<sup>五十六</sup>從四位上藤有穗

備前守從五位上直道一男



母陰陽助繼雄女

貞觀十一年三月四日任主殿頭正十二年  
正月廿五日任讚岐权掾十六年正月十  
五日任春宮女進于時藏人十八年十二  
月廿七日任内藏权助十九年正月三日  
叙從五位下元慶元年四月十九日聽禁  
色藏人十月十八日任侍從二十五年上  
任右工用权佐八年二月廿三日叙從五

位上三月九日兼美濃權介同月十一日  
聽禁色衣服十一月廿五日叙正五位下  
九年正月十六日兼左少将 佐如元 仁和  
二年二月廿一日兼右中辨去右衛門权  
佐余如元  
仁和二年八月補藏人頭左中弁兼左中  
将正五下也三十一正十七一搏左中弁叙  
從四位下同十一日任中宮大夫仁和三  
年八月止頭天皇昇霞壬十一月日宣旨



聽雜袍寬平三年四月十一日兼任右大  
辨四年三月十四日叙從四位上五年二  
月十六日參議大夫如元  
禁色從四位下源湛世九  
貞觀五年十一月十七日叙從五位下無位九  
年廿九日任備後权介十年正月十六日

任備前权介十二年三月十四日任侍從  
十六年正月十五日任土佐权守十八年  
正月七日叙從五位上十二月廿七日任  
左兵工佐十九年正月十五日任左衛門  
佐元慶七年二月十四日兼備中守九年  
正月十六日任左近衛少将備中守仁和  
二年正月七日叙正五位下三年十二月  
月三日聽禁色袍昇殿五年正月十六日



兼讚岐公寬平二年正月七日叙從四位  
下二月廿七日兼內藏權頭四年正月廿  
三日轉內藏頭二月廿一日任左近權中  
將五年正月十一日兼備中身二月十六  
日任參議  
五日從四位下 菅道 四十九  
參議從三位刑部卿是善卿三男  
母伴氏女 三月十四日

貞觀四年春補文章生 御年十九年二月  
廿九日任下野叔掾文章得業生十二年  
三月對策及第十三年正月廿九日任玄  
蕃助同三月二日任內記十四年正月六  
日兼問激海客使十六年正月七日從五  
位下同十五日任兵部少輔同二月廿九  
日任民部少輔十九年正月十五日任式  
部少輔元慶元年十月十八日兼文章搏











中納言

從三位

月廿任权中納言

参議 從三位

藤有実 左中将正月七日叙從三位

正四位上

源

直

右五刑督越前权守

從四位上

源

貞恒

三月十日兼大藏卿

大納言

藤保則

民部卿

從四位上

同有穗

中宮大夫正月十五日兼阿波权守

從四位上

源

湛

左大弁式部大捕 勘个由長官

寬平六年 從四位下 菅道

寬平七年 同天皇

非参議 從三位

藤高藤

正月三日播广权守

右大進

藤良世

大納言

源能有

中納言

藤有实

從三位

源



寛平七年乙卯 同天皇

左大臣 從一位 源 融七十五

八月廿五薨 同廿廿日詔贈  
正一位 生年美和三年丙辰  
号河源左大臣在官廿四  
年公卿旁四十一

右大臣 從二位 藤 良世七十四

左大将 東宮傳 八月十  
日兼民部卿 十二月言  
為五畿内諸国別當

大納言 正二位 源 能有七十一

中納言 從二位 藤 時平七十五

右大将 春宮大夫

從三位 源 光七十一

左工部督 別當 兼中納言



從三位

藤諸葛

七十一正月上表致仕 六月廿日  
薨頭五年 參議中將  
十三 中納言五

從三位

菅道一

七十一正月十日 參議 時兼近  
江守十月十三日 兼春宮  
權大夫

權中納言

藤因經

六十九大宰權帥 皇太后宮大夫

參議 從三位

藤高藤

左大臣冬嗣孫內舍人良門 勇

母西市正高田師弥 广呂

貞觀四年正月十三日 任右近將監七年

十月十九日 補藏人 聽禁色衣服八年正

月廿三日 兼乃叔大掾十年正月七日 叙

從五位下十一年二月十六日 甲辰播磨

叔父十三年三月十一日 丁巳任備中叔父

元慶三年二月十五日 兼尾張叔守七年

正月十一日 任左近少將八年三月九日

兼讚岐 仁和二年二月廿七日 任兵部



大捕<sup>少</sup>三年二月二日兼近江权从十月十  
七日叙正五位下四年三月十九日聽雜  
色袍五年六月廿八日兼伊予权从或近  
江少将如元寛平二年正月廿日叙正五  
位上二月廿七日任兵部大捕叙送四位  
下三年三月九日兼伊勢权守四年正月  
廿三日任播磨权守<sup>上</sup>六年正月三日  
叙送三位七年十月六日任参議权守如

元平有民四年且始年出此後年殿年  
藤有实<sup>共</sup>左中將中宫大夫  
正四位上<sup>六十六</sup>源直<sup>右衛門督</sup>二月十日  
源貞恒<sup>共</sup>大藏卿  
藤保則<sup>共</sup>民部卿 四月廿日  
卒在官四年  
同有穗<sup>共</sup>正月十日兼備前守  
中宫大夫  
源湛<sup>共</sup>  
源希<sup>共</sup>



大納言 正三位

弘<sup>弘</sup> 卿六男

母

元慶八年二月廿三日叙從五位下三月  
九日任内藏助仁和元年正月十六日任  
民部少輔同二月廿日任右衛門权佐  
二年正月十六日任右少辨四月五日兼  
寮院長官三年二月一日兼近江权从四  
年十一月廿五日叙五位上寛平二年月

日兼侍從同年壬九月廿日兼大藏大捕  
三年三月九日兼右近少将四月七日聽  
色衣服藏人十一日兼左少弁女将如四  
年正月七日叙正五位上廿三日兼右近  
權中將五年正月十一日兼伊子守廿一  
日叙從四位下二月十六日兼權左中弁  
廿二日轉右大弁同日補藏人及三月十  
九日兼修理大夫壬五月一日兼右兵衛



督六年正月十六日兼左中將十二月十  
五日兼侍從正月十一日兼播磨守十月  
廿六日任參議辨中將播磨守侍從如元  
從四位下源昇侍從如元

左大臣從一位融二男

母

貞觀十七年正月七日叙從五位下元慶  
三年十一月廿五日叙從五位上五年二

月十五日任土佐權守八年五月廿九日任  
右馬助仁和元年二月任左兵衛佐二年  
二月廿一日任左工門權佐四年二月十  
日任近江介十一月廿五日叙正五位下  
寬平二年月日兼侍從三年四月十一日  
任左中辨四年正月廿三日兼乃權守五  
年正月廿一日叙從四位下二月十六日  
兼木工及二月廿二日補藏人頭博左中



弁木工頭兼乃叔守木如元六年八月

兼遣唐裝束使十二月十五日侍送七年

十月廿六日任参議侍送如元  
左中弁

二月廿一日任左大臣

二月廿一日任左大臣

二月廿一日任左大臣

二月廿一日任左大臣

寬平八年丙辰同天皇

左大臣送三位藤良世吉

七月十六日任十二月廿五日致仕昌泰三年

十二月廿八日薨七十八同十日贈送一位号致

仕大臣右大臣六年左大臣一年公卿旁三十一大將廿年右五十一左五

右大臣 送二位 藤良世 七月十六日任左大臣

正三位 源能有

左大將 東宮傳 民部卿 七月十六日右大臣 大將 傳如元

中務言 五二五



中納言 正三位 藤時平廿五 右大將春宮大夫

從三位 源光五十二 左工門督 別當

從三位 菅道五十二 春宮权大夫八月廿八日兼民部卿權大夫

并侍從使如元止大輔

遣唐大使中納言從三位兼行民部卿左大將

春宮權大夫菅原朝臣宣奉 土月廿日私任

權中納言 從三位 藤国繼經六十九 大宰权帥九月廿二日停

參議 從三位 同高藤五十九 皇太后宮大夫 正月廿六日兼近江守

從三位 藤有実四十九 左中將中宮 大宰大夫 正月廿六日兼近江权守

從三位 源直四十七 右左列督 備中权守 正月七日叙從三位

從四位上 同貞恒四十一 大藏卿 正月七日兼四位下 廿六日兼播广权守

從四位下 同有穗五十九 備前守中宮大夫

從四位下 源湛五十二 正月七日叙從四位上 二月十五日兼彈正大弼

從四位下 源希四十七 右大將播广守左中將侍從

從四位下 源昇三十九 侍從三月十五日兼勘解由 長官二月十五日正左中將



中納言 正三位 藤原 平 右大臣 藤原 實家

藤原 實家 二月十日 壬午 出陣 御前

藤原 實家 二月十日 壬午 出陣 御前

藤原 實家 二月十日 壬午 出陣 御前

藤原 實家 二月十日 壬午 出陣 御前

藤原 實家 二月十日 壬午 出陣 御前

藤原 實家 二月十日 壬午 出陣 御前

藤原 實家 二月十日 壬午 出陣 御前

寛平九年三月廿七日 壬午 出陣 御前

同廿一 同廿二 同廿三 同廿四 同廿五 同廿六 同廿七 同廿八 同廿九 同三十

同廿一 同廿二 同廿三 同廿四 同廿五 同廿六 同廿七 同廿八 同廿九 同三十

同廿一 同廿二 同廿三 同廿四 同廿五 同廿六 同廿七 同廿八 同廿九 同三十

同廿一 同廿二 同廿三 同廿四 同廿五 同廿六 同廿七 同廿八 同廿九 同三十

同廿一 同廿二 同廿三 同廿四 同廿五 同廿六 同廿七 同廿八 同廿九 同三十

同廿一 同廿二 同廿三 同廿四 同廿五 同廿六 同廿七 同廿八 同廿九 同三十

類編天皇正三位



醍醐天皇

同五	同六	同七	同八	同九	同十	同十一	同十二	同十三	同十四	同十五	同十六	同十七	同十八	同十九	同廿	同廿一	同廿二	同廿三	同廿四	同廿五	同廿六	同廿七	同廿八	同廿九	同三十	同三十一	同三十二	同三十三	同三十四	同三十五	同三十六	同三十七	同三十八	同三十九	同四十	同四十一	同四十二	同四十三	同四十四	同四十五	同四十六	同四十七	同四十八	同四十九	同五十	同五十一	同五十二	同五十三	同五十四	同五十五	同五十六	同五十七	同五十八	同五十九	同六十	同六十一	同六十二	同六十三	同六十四	同六十五	同六十六	同六十七	同六十八	同六十九	同七十	同七十一	同七十二	同七十三	同七十四	同七十五	同七十六	同七十七	同七十八	同七十九	同八十	同八十一	同八十二	同八十三	同八十四	同八十五	同八十六	同八十七	同八十八	同八十九	同九十	同九十一	同九十二	同九十三	同九十四	同九十五	同九十六	同九十七	同九十八	同九十九	同一百
----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----

寛平九年丁巳

七月五日天皇讓位皇太子同十三日即位

右大臣 正三位 源能右

左大將皇太子傳六月八日薨 辛三同月十六日贈正一位号院大臣

大納言 正三位 藤時平

右大將東宮太夫六月十九日任同日轉左大將

權大納言 正三位 菅原道

辛三六月十九日任民部卿同日兼右大將今日為氏長者云云七月十三日叙正三位同廿六日兼中宮太夫

權大納言 從三位 源光

辛三六月十九日任兼按察使去二月停使別當

中納言 正三位 藤高藤

辛三六月十九日任七月十三日正三位



從三位 藤原經 七月十九日將大宰權帥如元

參議 從三位 同有實 左中將近江權守五月廿五日 兼按察使止太夫六月十九日 兼左門督止按察

從三位 源直 右門督備前權守正月廿五日 兼讀岐權守并右門督

正四位下 源貞恒 大藏卿權守正月十一日 兼侍候五月廿五日 兼右門督止為使別當

正四位下 十世王 年致 節六十四

贈太政大臣一品仲野親王男

元慶八年二月 日叙從四位下元無位仁和元

年正月十六日任中務大輔同二年二月二日兼

加賀權守寬平二年正月七日叙從四位上三年

十二月六日任宮内卿五年十一月廿二日兼伊予權

守八年正月七日叙正四位下同十二日兼越前權

守九年六月十九日任參議 卿如元

從四位 藤有穗 備前守五月廿五日 兼治了中 宮大夫如元十二月廿二日叙正四位下

從四位上 源湛 彈正大同正月十四日 兼諸岐權守 五月廿五日 兼刑了止大弼守



從四位下 源希

右大兵衛少将 元七月廿五日轉  
左大兵衛少将 如元七月十三日叙從  
四位上侍從

從四位下 源昇

侍從 勘解由長官 正月十日  
兼伊予權守 六月十九日  
兼右兵衛督 九月 侍從 七月  
月十三日叙從四位上

昌泰元年 壬戌 寬平十年 八月十六日改元

大納言 正三位 藤時平 左大將

權大納言 正三位 菅道一 右大將 民部中宮大夫

大納言 從三位 源光 按察使

中納言 從三位 藤高藤

中納言 從三位 同因經 大宰權帥

參議 從三位 同有實 左工門督 備中守

從三位 源直 讚岐權守



正四位下 源貞恒

右門督伊与権守正月廿九日兼別當

正四位下 十世王

宮内卿備後権守

正四位下 藤有穂

治了中宮権左夫

從四位上 源湛

刑了中宮権守

從四位上 源希

左大臣播磨守侍從

從四位上 同昇

勤ヶ由長官伊与守侍從

大納言

從四位上

同昇

侍從

昌泰二年

正月

八月

十六日

昌泰二年未記

左大臣 正三位

藤時平

元

二月十四日任左大將如元

右大臣 正三位

菅道一

元

二月十四日任右大將如元年  
同廿七日上表同廿八日被返御奏

大納言 正三位

藤高藤

元

二月十四日任

從三位

源光

按察使二月十四日任

中納言 從三位

藤国經

元

源希

二月十四日任中納言叙從三位  
三月七日兼民了中侍從如元  
超六人

同廿七日

同廿七日

超六人



從三位藤定國 三十七

内大臣從二位高藤男

中納言 兼 母宮内大補宮道弘益女

仁和三年四月廿四日補藏人同四年二月一日  
任左工門少尉寬平二年月日叙從五位下  
同三年三月九日任侍從四月十八日宣旨禁色藏  
人同四年五月廿三日任右衛門佐同五年四月二  
日兼春宮少進同閏五月十日兼内藏頭同七年

三月廿日兼東宮大進同八月十三日叙從五位上  
同八年正月廿一日叙正五位下同廿六日任左少  
將 兼官如元 三月十七日去藏人頭同九年正月廿

一日兼備前外三月廿一日兼備前外三月廿三日  
叙從四位下七月七日補藏人頭同十三日叙從  
位上同九月兼左近權中將十年正月廿九日

兼近江權守昌泰二年二月廿四日任參議將

如元同十二月五日任中納言叙從三位中將如元 超七



參議 從三位 藤有實 左門督備中守

從三位 源直二十 讚岐守十二月廿六日出家即日薨

正四位下 源貞恒 左門督伊予權守別當

正四位下 十世王 宮内以備後權守

正四位下 藤有穗 治了乃中宮大夫

從四位上 源湛 刑了乃美濃權守

從四位上 同昇 勘介由長官侍從伊予守

昌泰三年 轉中納言 於二月廿二日薨

昌泰三年 轉中納言 於二月廿二日薨

左大臣 藤時平 左大將

右大臣 菅道一 右大將

内大臣 正三位 藤高藤 正月廿八日任三月十二日薨  
年六十三三月十四日贈正一位

太政大臣号勸修寺内大臣

大納言 從三位 源光 按察使

中納言 藤国経

源希 民了乃侍從



參議 藤定国 左中將

參議 藤有實 右門督伊予守正月廿六日從三位

大進言 源貞恒 左門督備中守

大進言 十世王 宮内少備後權守

大進言 藤有穗 治平十二年音兼備前權守

大進言 源湛 刑部卿美濃權守

大進言 從四位上 在原友干

昌泰三年 致仕中納言從三位行平男

母 平 二 四 日

貞觀十三三十一左京少進同十七二廿七辛巳

東宮少進同十八二十廿七主殿權助元慶元正三

從五下同四月十九日聽衣服禁色藏人同

三五十一右兵衛權佐同七正十一戊寅同八二廿二

從五上仁和元二廿兼播磨權女同二六十九右

少將同四二十左少將十一月廿五日正五下寬

平二正廿八兼讚岐權女同四正七從四位下



二月廿一日内藏頭同五月一日雜同五閏五一修  
理大夫同七十二十五藏人頭同八正廿六兼侍從  
同九正十一右中將大夫如元六月十九日左中將七  
月止頭十一月廿三日從四上同十正九兼美濃  
權守昌泰二正十一兼備前守三月廿八日藏  
人頭補同三正廿八任參議二月兼修理大夫  
八月廿日兼左兵工督

從四位下藤忠平廿一位行平男

太政大臣昭宣公四男四正四正五正  
母同時平

昌泰三正廿八任參議二月廿日以參議与  
叔父清經朝臣五月十五日任右大辨

從四位上藤清經廿五位

權中納言從二位長良六男廿八位  
母

貞觀八年正十三右工門少尉同九正十三博犬











詩云忽驚朝使披荆棘官品高加拜其  
雖往悅幸仁恩遂寤但着存沒左遷名  
依此事重贈太政大臣

右大臣 正三位 源光 正月七日正三位同廿五日任  
右大臣

中納言 藤国經 三月二十日廿五日

源 希 民了以侍從

藤定国 左中將 正月廿五日 兼右近大  
將

藤有實 左門督

參議

源貞恒 左門督 伊与守 別當

十世王 宮内卿 備後權守

藤有穂 治部卿 備前權守

源 湛 刑了々美儂權守 正月七日  
正下

藤清經 右兵三督 播磨權守

源 昇 勘長官侍從

在原友干 左兵三督 二月十九日兼備中  
寺修理太夫



延喜二年壬戌

左大臣 藤時平 左大將正月廿日贈別封二千戶

右大臣 源光

大納言 從三位 藤國經 七十五 正月廿六日任

從三位 同定国 正月廿六日任三十六右大將如元  
二月廿五日兼按察使

中納言 從三位 源希 五十五 正月十九日薨

從三位 源負恒 正月廿六日任右衛門督

從三位 藤有總 正月廿六日任叙從三位任中納言  
二月廿三日兼民部卿



參議

藤有實

左衛門督

十世王

宮内省

源湛

刑部卿

從四位上 平惟範

哭

大納言 正三位 高棟三男

母贈太政大臣長良女

侍從四位上有子

貞觀十六年正月廿三日從五下十二月六日宣旨補藏人同十七年八月十五日皇太后宮權亮元慶

元十一月廿一日從五上同三年二月十五日兼備後權守同四年正月十一日兼備前權外四月十五日正五位下仁和二年正月七日從四下同三年二月十七日兼民部大補五月十三日兼彈正大弼去大補同五年四月十三日聽雜色袍寬平二年正廿八日兼式部大補同五年三月十五日兼肥後權守同六年正月七日從四位上同九年五月廿五日大藏卿六月十九日太皇太后宮



權太夫延喜二年二月廿六日任參議

十日兼明從四位下紀長谷雄兼

貞平二年內膳正從五位下因奇孫

彈正忠貞範男

二月十日母

貞觀十八年春補文章生字紀寬元慶

五年二月十五日讀岐權小目

文章得業生

同八年

五月廿六日讀岐掾仁和二年正月十六日少

外記同四年十一月廿五日從五下寬平二年

正月廿八日圖書頭同三年三月九日文章博士

同四年正月廿三日兼尾張女五月廿三日兼讀岐

女同五年二月廿二日任式部少輔

兼官如元

同六

正七從五上八月十六日右少弁同七年八月十三

日正五下同十六日大學頭去弁同八月廿一日聽雜

袍昇殿同十二月十六日從四下同九年五月廿

五日民部大輔

大學頭去

文章博士如元同六月十九日



兼侍從昌泰二年二月十一日右大臣兼官如元

同二年五月十日唐副使從四位下餘官皆令  
同五年十月五日左大臣侍從如元延喜二年正

月廿六日參議如元

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including dates like 同四年五月廿三日 and 同五年五月廿三日.]*

延喜三年癸亥

左大臣 藤時平左大將

右大臣 源光正月七日從二位

大納言 藤国經正月七日正三位

同定國右大將按察使

中納言 源負恒左門督別當

藤有穂氏了乃

參議 藤有實左門督正月七日正三位



冬

十世王

宮内少輔正月上旬兼伊勢權守

冬

源湛

刑了

冬

平惟範

大藏少輔正月上旬兼播磨權守

冬

藤清經

右兵衛督播磨守

冬

源昇

勘解由長官侍從讚岐守正月上旬兼之

冬

源

冬

在原友干

左兵衛督備中守修理大夫

延喜三年

延喜四年正月 紀長谷雄

左大弁正月七日從四上同  
土日兼續岐權守

左大臣

右大臣

大納言

中納言

参議



延喜四年甲子二月乙卯立皇太子

左大臣

從二位

藤時平

左大將

右大臣

從二位

源光

二月十日皇太子傳

大納言

正三位

藤国經

從三位

同定国

右大將 按察使 二月十日兼  
東宮大夫

中納言

從三位

源貞恒

左門督 別當

藤有總

民部卿

參議

正三位

同有實

左門督

照身公

二月十日



卷之五

十世王

宮内卿 伊勢權守

源 湛

刑部 正月廿音兼伊世子

平 惟範

大藏卿 播磨權守 正月廿音栗

藤 清經

右兵衛督 正月廿音位下

源 昇

勘長官 侍從 讚岐守 正月廿音位下

在原友子

左兵衛督 修理大夫 正月廿音兼近江權守

紀長谷雄

左大弁 讚岐權守

延喜四年 正月廿音

延喜五年

丑乙

左大臣 從二位 藤時平

左大將

右大臣 從二位 源光

皇太子傳

大納言 正三位 藤國經

從三位 同定國

右大將 春宮大夫 按察使

中納言 從三位 源貞恒

右衛門督 別當

藤有穂

民部卿

參議 正三位 同有實

左工門督



正四位下 十世王 宮内少輔伊勢權守

源 湛 刑部少輔伊世守

正四位下 平惟範 大藏卿播磨守

藤清經 右兵衛督

源 昇 勘長官侍從讚岐守

從四位上 在原友子 左兵衛督近江權守修理大夫

紀長谷雄 左大臣 讚岐權守

延喜五年

延喜六年 丙寅

左大臣 藤時平 左大將

右大臣 源 光 皇太子傳八月廿五日兼右近大將

大納言 藤國經 七十九

從三位 同定国 右大將 春宮大夫 陸奥出羽按察使 七月二日薨 四十年

從三位 源 貞恒 号早 泉大將生年貞觀八年 丙戌

中納言 藤有穗 右工門督 十一月七日正二位 法皇御加賀院別當

正四位下 藤有穗 民元九月十七日兼東宮大夫



中納言

同有實

左門督 正月十日兼伊与守

十世王

宮内卿 伊勢權守

源 湛

刑部卿 伊勢守

平惟範

大藏卿 正月十日兼播磨守

藤清經

右兵衛督

源 昇

勘長官侍從 讀岐守

在友于

左兵衛督 修理大夫  
正月七日正位下

紀長谷雄

左大弁 讀岐權守

延喜七年 卯丁

左大臣

藤時平

左大將 正月七日正三位

源 光

右大將

大納言

藤國經

正月十日 兼按察使

中納言

源貞恒

右工門督

從三位

藤有德

民部卿 春宮大夫 十二月廿日薨  
辛頭二年 參議十一 中納言六

參議

正三位

藤有實

左門督 伊与守

正四位下

十世王

宮内卿



源湛 刑部卿二月廿九日兼近江權守

平惟範 正月十三日兼左兵衛督

藤清經 右兵衛督播磨守

源昇 勘長官侍從

在友下 正月十三日兼大宰大貳止修理大夫正月一日改任權帥

紀長谷雄 左兵衛督正月十三日兼讚岐守

式大引

延喜八年

延喜八年戊辰

左大臣 正二位 藤時平 左大將

右大臣 從二位 源光 右大將

大納言 正三位 藤国經 按察使六月廿九日薨八十一頭六年參議十三日大納言

源貞恒 七月

正月十六日任二月兼民部卿八月一日薨六十三本名貞經參議十年別當十二日中納言一十七日大納言七月

中納言 從三位 源湛 六十四 正月十二日任即叙從三位



中務言 第三

平惟範

五志

正月十六日任叙從三位左兵衛

督三月五日為使別當八月廿

兼民部卿如元去左兵衛督或

不去之云云

源昇

辛

二月廿三日任叙三位

參議

藤有實

左門督伊与守

大藏言 五三

十世王

宮内卿正月十三日兼越前守

式大司 五二

藤清經

正月十二日遷兼右衛門督

式大司 五二

在友于

大宰權帥

式大司 五二

藤仲平

三十四

太政大臣昭宣公二男

仁和三二十三正五下新叙寬平二閏九廿右衛

門佐同四二廿六右少將同五正十一兼讚岐權守

藏人同六正七從四下同八正廿六右中將同九六

十九左中將同十正廿九兼紀伊權守昌泰二

三七兼中宮太夫同十月四日昇殿同三正十日

兼讚岐權守同四正七從四上三月十九日藏人



頭延喜六<sup>二</sup>二<sup>三</sup>兼備前守同七正七正四下土

六月一<sup>一</sup>中宮大夫同八正十二兼近江權守二月廿

四日任參議中將權守亦如元

從四位上紀長谷雄左天年正月七日正下

從四位上藤忠平二十九元慶四年庚子誕生七月不滿十月云昭宣公四男

寬平七八十一正五下九月十五日聽雜袍昇殿同

八正廿六侍從同九二十四兼肥後權守同十正

廿九任肥後權守復任也昌泰元十一廿二從四下

同三正廿八任參議侍從如元同二月廿日以參

議讓与叔父右兵衛督從四位上經朝臣四

月廿三日如舊昇五月十五日任右大弁侍從如元

延喜三正七從四上同六正十一兼備前權守

同八正廿二參議大弁權守等如元同二月廿四日兼

東宮大夫八月廿六日兼左兵衛督停右大弁道

明任兵衛督九月一日補檢非違使別當

從四位上藤管根侍從式部大補



常陸公從五位上春繼孫

從四位上右兵衛督良尚四男

母從四位下菅野高年女六十五



元慶八年春補文章生字右生寬平二

正月任因幡掾九月日對策同三三九任少内

記同九七七昇殿十三日從五下御即位十六日

昇殿十七日勘解由官廿六日式部少輔十

一月廿三日從五上昌泰二年二月十一日兼

文章博士同三年正月兼備中權公同廿九

日藏人頭五月十五日少輔公同四正廿六左貶

大宰大貳今日止頭同廿七日如故昇殿同二月

十九日式部少輔廿一日如故藏人頭三月十

五日兼權左中辨延喜二正七正五位下同三

正從四下二月廿六日式部大輔同四正廿五

兼備前守二月如兼春宮亮同廿六日

式了大輔兼官如元同六十一七從四上同七



二廿九兼侍從同八正十二任矣參議式部大輔  
侍從如元十月七卒十七日詔贈從三位生年奇  
衡二十一丙子以廿六日卒

大將六月廿五日辰刻薨  
左大臣正二位藤時平  
右大臣從二位源光  
中納言從三位源湛  
從三位平惟範  
源昇

延喜九年 己巳

左大臣 正二位 藤時平

左大將四月四日辰刻薨  
三十九五日賜正位太政大臣  
予本院大臣生年貞觀十  
三年辛卯

右大臣 從二位 源光

四月廿二日兼左近大將

中納言 從三位 源湛

正月十一日兼陸奥出羽按察使

從三位 平惟範

四月廿二日兼右大將九月十八日  
薨

源昇

四月廿二日兼民部卿參議  
年中納言二年別當六月  
大將六



權中納言 從三位 藤忠平

三十春宮大夫四月九日叙從  
三位任權中納言督大夫如元  
五月十日為藏人所別當九  
月廿七日兼右近大將大夫如  
元十月廿二日使別當如元

參議

藤有實

左工門督伊与守 近兼大  
將檢非違使別當兼帶例

十世王

宮内卿 越前權守

藤清經

右衛門督四月廿二日兼備前  
權守

在友于

大宰權帥

藤仲平

近江權守九月廿七日遷左兵  
衛督

紀長谷雄

左大兵

從四下 藤道明

齊衡三年丙子生

相摸女從五下保蔭一男

母信濃守從四下橋良基女

寬平二年秋文章生字藤階同七年正月

十一日越前少掾同九年七月七日藏人 元東宮藏人

同月十三日從五下同十年正月廿九日相摸女

延喜三年正月十一日播戶女同十二月四日昇



殿同四年正月七日從五上同廿五日權左少弁  
同五月廿六日兼勘解由次官同六年正月七  
日正五下十二日左少弁次官如元三月廿五日左中  
弁同八正七從四下十二日左中弁十六日如故昇  
殿同二月廿三日兼勘解由長官八月六日轉右  
大弁九年四月九日任參議弁長官如元

從四位下藤定方三十五

内大臣高藤二男

母同与定國

寬平四年三月廿一日内舍人同七年二月  
十一日陸奥推少掾東宮御給同八年正月七日從  
五下東宮御給二月十五日尾張權守同九年七月  
五日右少將同十年三月廿九日相摸權外昌  
泰三年二月廿日兼備前守五月十五日復任  
同四年正月七日從五上廿六日左少將延喜三  
年正月七日正五下同四年二月十日兼近江



天同六年正月廿一日從四下二月十五日右  
權中將同八正月十二日兼備前守同九任參議  
中將守等如元

*(Faint bleed-through text from the reverse side of the page)*

延喜十年 權中將 藤原忠平

右大臣 源光 左大將 正月七日正二位

中納言 同 湛 按察使

同 昇 民部卿

同 藤忠平 主右大將 春宮大夫 使別當  
正月十三日將正

權中納言 紀長谷雄 主左大將  
正月十三日任

參議 藤有實 左衛門督

同 十世王 宮内卿 越前權守 正月七日從三位



藤清經

右門督 備前權守

正四位下 在原方子

大宰權帥 四月廿日卒  
在官廿年

藤仲平

右兵衛督 近江權守 正月廿  
八日 備前權守

從四位下 藤定方

右中將 備前守 正月七日  
從四上

同道明

右大兵衛 勘長官 正月七  
日 從四上 正月十四日 兼伊  
予守 二月十五日 兼左大兵

從四位下 藤清貫

四

參議 從四位上 保則 四男

母右近中將 從四位上 在原業平

朝臣女

仁和四年 二十日 讚岐權大掾 寬平五年 五月

十六日 中判事 同八年 正月廿六日 兵部少丞

同九年 七月七日 藏人 同廿六日 式部少

丞 昌泰元年 十一月廿一日 從五下 藏人 臨時同

二正 廿一 美濃 同三月 七日 兵部少輔 同廿八日

藏人 同三二 廿 兼相模權 同八月 廿日 式部權



少輔延喜二年九十五右少弁同四正七從  
五上同五十五兼右門權佐同六三廿五漕  
左少弁同七正一正五下同八正十二右中弁同月  
兼東宮亮八月廿八日左中弁同九正七從四  
下同五月十一日藏人頭同十正十三任參議二  
月十五日兼右大弁春宮亮如元

延喜十一年辛

右大臣正二位源光  
大納言從三位藤忠平

正月十三日任右大將東宮  
大夫如元三月日使別當如  
元十二月廿八日停檢非違  
使別當

中納言源湛按察使

源昇民部卿

藤忠平右大將春宮大夫別當

紀長谷雄六十六  
正月十三日轉正



權中納言 從三位 藤道明

正月十三日任叙從三位 五十五

參議

藤有實

左門督 正月十三日兼近江守

十世王

宮内少輔 越前權守

藤清經

右門督 備前權守

同仲平

左兵衛督 備前守

從四位上 同興範

六十六

中納言 從三位 繩主 曾孫 國幡女

從五位下 正世九男

貞觀十五 春文章生 字常生 同十九年正

月十五日 大宰少貳 同二月廿九日 大舍人 大元元

慶二年 二月十五日 治了少兼 同五年 三月八日

民部少兼 同七年 正月十一日 式部少兼 仁和元年

十月十六日 轉大進 同三年 正月七日 從五位下 二月

三日 掃部正 八月二日 筑前守 寬平五年 正

月十一日 豐前守 四月廿日 筑前守 八月九日 兼

推少貳 同七年 正月十一日 大宰少貳 昌泰三二



廿日右中辨同四年正月七日正五下延喜二年正月廿六日叙四下任大宰大貳同七年二月廿九日右京大夫同九年正月十一日式部大辨同十年二月七日從四上十一年二月十五日任參議大辨如元四月廿八日兼大宰大貳九月十六日正四下今日召殿上給錢之次取也

藤定方

三七

右權中將

備前守

貞賢十一從四位上源當時

四四

延喜十二年右大臣正三位能有一男

元慶六年正月七日從五下同八年三月九日侍從仁和元年四月廿七日任周防外同四十二年濃女寬平二年閏九廿左京亮同三十八右馬助同四二廿一右工門權佐同六正七從五上同七年八月十六日左少弁同八年正廿六日權右中弁同二月十五日兼木工頭五月廿五日右中弁同九五廿五左中弁昌泰元年十一



月廿八日正五下同四月九日聽雜袍延喜二年  
正月七日從四下同七年十月三日兼周防權  
守同八年正月十二日遷右兵衛督同十一年  
五月十三日任參議二月七日付兼字右兵衛督  
如元十二月廿八日為檢非違使別當

藤清貫  
正月十三日讀以權守二月十五日轉左大兵四月廿八日

兼式了大捕 年四十五

延喜十二年 壬申

右大臣 源光 六十八 左大將

大納言 藤忠平 右大將 春宮大夫 三十二

中納言 源湛 六十八 按察使 十二月廿二日上狀請致仕不許

源昇 五十四 民部卿

從三位 紀長谷雄 六十六 三月十日薨 生年美和十二年乙丑

權中納言 藤道明 五十六

參議 藤有実 六十六 左衛門督



十世王 七十九 宮内卿

藤清經 六十七 右衛門督

同仲平 三十八 左兵督 備前權守

同興範 六十九 大宰大貳

源當時 三十五 右兵衛督 別當

藤定方 六十八 右中將 三月廿七日兼近江權守

同清貫 四十六 左兵督 大補讀 以權守正月廿日從

延喜十三年

延喜十三年 癸酉

右大臣 正二位 源光

左近大將三月十二日乙卯薨同十八日贈正一位 号後西三条右大臣 兼參議 八年 中納言 七 別當 五 大納言 右大臣 十三

大將 四 左大將 五

大納言 正三位 藤忠平

右大將 正月七日 正三位 四月 十音 轉 右近大將

從三位 源湛

正月廿八日任

源昇

民部卿

藤道明

正月廿八日 轉 正四月十五日 兼 右近大將



從三位 同定方

正月廿八日叙從三位任中  
納言起六人四月十日兼左  
工門督

權中納言 從三位 藤清貫

四十七正月廿日叙從三位任起六人

參議 藤有實

四十四四月十日兼按察使辞左衛  
門督

十世王

八十宮内卿正月廿日兼播磨守

藤清經

六十六右衛門督

同仲平

三十九左兵衛督正月廿八日兼備前  
權守四月十五日兼東宮大夫

藤興範

七十大宰大貳

源當時

四十六右兵衛督正月廿八日兼播  
磨守使別當

從四位上 藤枝良

六十九

左大臣正二位 緒副 孫刑部卿 從

四位上 右兵衛督 春津八男

母從五位上 紀御依女

元慶七年二月十四日 太皇太后宮少進 仁和

三年正月七日 從五位下 寬平五年七月廿三日

兼中務少輔 同六年八月十六日 兼太皇太后宮大



進同七年八月十六日兼民部少輔同九年正月  
十一日兼太皇太后宮亮同二月十四日任權右少弁亮如元  
六月十九日轉左少弁七月十三日從五上昌泰二  
年正月十一日兼讚岐守同二月十一日任大皇太后宮  
亮延喜二年正月廿六日任右中弁同三年正月  
七日正五下同四年二月十日兼春宮大進同六  
年正月七日從四下三月廿五日轉春宮權亮同  
七年正月十三日任修理大夫同九閏八月四日

兼相摸守同十一年二月轉亮同十二年正月  
七日從四上同廿八日任參議大夫如元春宮亮如元之  
無權字

從四位下橘澄清十三

信濃守從四位上良基五男

寬平二年二月本マ秋文章生字 上同六年十二月

廿八日伯耆權掾依瀬海客人觀也 同八正廿六日兵部少

憲同九年正月七日從五下同十一日伊予外昌泰

二年十月九日讚岐權外延喜二正七從五上同六



正十播戶女九月十七日正五下同九正七從四下  
同廿一日伊子女四月廿二日溥伊子守同十五廿九  
大宰大貳十一十二二十五勘解由長官同四月廿八日  
左中兵同十二正十五右大兵二月十五日昇殿同十  
三年正廿八任參議四月十五日溥左大兵大兵勘長  
官如元

延喜十四年甲戌藤忠平三十一八月廿五日任左大將如元

大納言從三位源湛七十八月十三日致仕同十五年青世薨

從三位源昇辛六八月廿五日任民了如元

從三位藤道明辛九八月廿五日任右大將如元

中納言同定方門督正月十二日兼東宮傳左衛

同清貫門督八月廿五日溥正四十八十月十

參議正三位同有實辛八按察使五月十二日薨



十世王八十一頭五年參議三十一宮內少輔權守

藤清經六十九右門督正月十二日兼讀以權守

同仲平四十春宮大夫左兵衛督

同興範七十一大宰大貳

源當時四十一右兵衛督近江權守別當

藤枝良七十修理大夫四月廿二日兼相模守

橘澄清五十四左大弁勘解由長官正月七日從四上同十二日兼播磨權守

藤保忠廿三

左大臣正二位時平一男

母一品式部卿本康親王女從四位上

廉子女王

延喜五十一廿八昇殿同六正七從五下同廿三日如政

昇殿同七二廿九侍從同九正七從五上同六月十

七日從四下同十正十三兼讀岐守同十一二十七右

中將十三年四月十五日右大弁同十四正七從

四上八月九日任參議右大弁如元



四十六日...

中納言...

十日...

...

...

...

...

...

延喜十五年

乙亥

右大臣

藤忠平

三六

左大將

大納言

源昇

三七

民部卿

十一月...

藤道明

六

右大將 東宮傳 十二月

宣旨云大納言昇道明等卿

信濃...

中納言

藤定方

甲一

左衛門督

九月...

同清貫

甲八

按察使 六月廿音 兼右門督

參議

十世王

八二

宮内少輔



參

從三位

藤清經

七十 右衛門督 讀岐守 正月七日 從三位 五月廿三日薨

藤仲平

里一 左兵衛督 東宮大夫

源當時

里八 右兵衛督 近江權守 使別當 正月七日薨下

藤興範

里三 大貳

同枝良

修理大夫 六月廿三日薨 讀岐守

橘澄清

里五 左大弁 勘長官 播磨權守

藤保忠

里四 右大弁 正月十三日薨 伊予守

大

從四位下

藤恒佐

里六

大

致仕左大臣良世七男

右大臣

母山城女從五下紀春豊

豊春一 從五位下 勢子

寛平六年正月十五日左近將監藏人同八年

十二月廿八日從五下

父大臣致仕日

同十年正月廿九日

信濃權少昌泰元年五月十日右馬助同二年

四月二日右兵衛佐延喜六年正月七日從五上同

九月十七日任左少將同七年正月十三日兼近江

女同八年正月十九日昇殿同十年正月七日正五



下同廿一日藏人同十一年四月廿八日兼東宮亮同  
十二年正月七日從四下同十九日兼伊予權守同廿  
日補藏人同十三年正月廿八日右近權中將同年  
十月廿日兼讚岐權守 十四年四月廿二日轉  
正十五年六月廿五日任參議中將權守如元

延喜十六年子丙

右大臣 從二位 藤忠平三十七 左大將二月廿八日從二位

大納言 正三位 源昇十八 民部卿 三月八日正三位  
法皇卿賀

從三位 藤道明六十四 右大將 皇太子傳 院別當

中納言 同定方四十二 左門督

同清貫四十九 右門督 按察使

參議 十世王六十三 宮内卿 攝太寺七月二日薨在官廿年

藤仲平四十二 春宮大夫 左兵衛督



源當時四十九 右兵衛督近江權守別當

藤興範七十三 正月廿五日兼彈正左衛門

同枝良七十二 修理大夫讚岐守

橘澄清辛六 左兵衛督長官播磨權守

藤保忠 右大臣伊予守

藤恒佐 左近權中將讚岐權守

延喜十七年丑

延喜十七年丑

右大臣從二位藤忠平三十八

大納言正三位源昇十九 民部卿

正三位藤道明六十二 右大將 皇太子傳十一月十七日

正三位朝且或云十月六日太上天皇於四條院賀昇昇卿七十

中納言從三位藤定方四十三 左門督

從三位同仲平

正月七日叙從三位同廿九日任二月九日宣旨兼任春宮大夫左兵衛督十二月十六日天皇於中殿賀定方卿四十子等云云



不審

參議 正四下 源當時 辛

石兵衛督別當

中納言 正四位下

藤興範 七十五

彈正大弼 正月廿九日兼近江守 十月一日卒在官七年

從四位上 三善朝臣清行

五波路守從四位下氏吉三男

大納言 五母佐伯氏

貞觀十五年春文章生 字三耀十六年得業生

同十九二十九越前權少目元慶四正十一播磨權少

目同五四廿五對策 不第 七年五月改判下第同八

年正月十一日任大學少允仁和二年正月十六日

少内記同三年正月七日從五下二月二日大内記

寬平三年正月廿日肥後少内同五年正月十一日

備中少内受領同正月七日從五上昌泰三年二

月廿日兼刑部大補同五月十五日兼文章博士

記如元 同四年三月十五日兼大學頭延喜二年正月

七日正五下同三年二月廿六日式部少補 博士如元



同四正七從四下五月廿八日去大學頭同五年正月十  
一日式部權大補同十四年四月廿二日轉正大補同  
十七年正月廿九日任矣多護同五月廿日兼宮内卿  
從四上 藤枝良 七十三 修理大夫讀史守貞廿七日卒  
生年兼和十二年乙丑在官五  
橋澄清 廿七 左大弁播戶權守勘長官  
從四位上 良峯衆樹 廿六  
大納言正三位安世孫丹波守從五位上

晨直二男  
元慶三年正月十七日左馬少允同八年五月廿  
日轉權大允寬平二年四月十日左近將監同七年  
三月廿八日兼春宮主馬首同八年正月廿六日兼播  
戶少掾同九年二月十四日兼越前大掾七月七  
日藏人同十三日從五下同十六日如故為藏人  
十二月十三日右兵衛權佐昌泰二年正月十日



兼内藏權助四月二日右近權少將内藏助如元  
同四年二月十九日兼近江權少將三月十五日轉正延  
喜二年正月七日從五上同五年正月十一日兼伊  
与次十月十七日兼主殿頭同七年正月七日  
正五下同八年二月廿三日兼備前次同九年  
四月廿三日左少將同十年正月七日從四下同  
廿一日如故昇殿同十一年正月十二日正十三右近  
權中將同十二年正月十五日兼備前守同十

五年正月七日從四上同十二日近守<sup>江</sup>權守八月十  
九日藏人頭同十六年三月廿日右中將同十七  
年正月廿九日任參議五月廿日兼伊与權守

藤恒佐

左近中將正月七日從四上同  
廿九日兼備前權守

中納言

藤道明  
藤定方  
同清實  
藤仲平







參議

源當時

辛一

右兵衛督

從四位上 善清行

宮内卿 七十五 正月十三日兼攝  
左權守十二月六日卒生年兼  
和十四年辛卯十月廿六日依  
淨公以持獲出下切二月二日即逝

中納言

橘澄清

辛六

左大弁 勘長官

藤保忠

辛七

右大弁 讀政權守

大納言 五三外

良衆樹

辛七

正月十六日兼近江守

右大臣

藤恒佐

左中將 備前權守

延喜十九年

延喜十九年 祀

右大臣

藤忠平

辛六

左大將 兼攝

大納言 同道明

辛四

民部卿 皇太子傳 八月十三日  
依病上表 勅停止 右大將 廿八日

勅聽帶劔

中納言 藤定方

正月廿八日兼按察使 九月十  
三日兼右近大將

藤清貫

右門督 廿二 九月十三日 溥左  
衛門督

同仲平

辛五

春宮大夫 左兵衛督

參議

源當時

辛二

右兵衛督 讀政守 九月十三日  
兼右門督 別當



橘澄清

辛八

左大弁 勘長官 正月廿八日 兼攝廣權守

藤保忠

廿八

右大弁 讀岐權守

良衆樹

辛六

近江守 六月三日 兼治部卿

藤恒佐

左近中將 備前權守

從四上 藤玄上

辛六

齊衡三年 丙子生六十四次

中納言 諸葛五男

母宮内卿 從三位 百濟勝義女

天慶七年二月刑部少丞元上野 少掾 仁和二年正月

十六日 溥大進 同四年十二月十五日 寬平二年正

月廿八日 木藏人 權助 同寬平三年九月 溥正同

四廿三 備前權女 同五年正月廿一日 從五下 内宴

藏人 同六年九月十三日 下總女 同七年八月

十六日 遷權女 同九年正月廿五日 中務少輔

昌泰二年正月十一日 納言 同四年正月三日 昇

殿 延喜三年正月十一日 兼大和女 同四年正月七日

從五上 同五年正月十一日 兼攝權女 同九年正月



七日正五下十二年正月七日從四下七月廿日如故  
昇殿同年二月十五日右馬頭十三年四月十五日右  
中將十四年正月十三兼伊予權守十六年正月兼近  
江權守三月廿八日轉左近中將十七年正月七  
日從四上同十九正廿八任參議六十四同六月三  
日兼刑部卿同二十年五月廿五日同  
廿八日同從四位上橘良恒同廿九年六月廿五日同  
大藏卿同參議常主孫從五位上安吉雄二男同

四年五月廿五日母飛鳥庸繼女同八年八月五日同十四日同  
仁和三年十一月十七日從五下氏寬平二年正  
月廿八日伊賀守同七年正月十一日遠江守二  
月十四日從五上昌泰二年三月七日美濃守四  
月二日播磨守延喜四年正月廿一日播磨守同  
六年正月十一日越前守同十一年正月十三日  
近江守十四日正月七日從四下同十二日近江權  
守同十五年正月十二日備前守同十七年正月



十七日從四上十九年正月廿八日任參議同六月  
三日兼宮内卿

從四位上源 悦 五十六 育衡三年生 云六十四 欣

大納言正三位弘七男

每阿保親王女

元慶八年五月廿六日越前女仁和元年正月

十六日右衛門大尉同二月廿日右門大尉寬平

四年五月廿三日右馬女同六年正月十四日

從五下七年正月十一日備前權女昌泰元十

一月廿一日從五上 備前切 同二年正月十一日兼播廣

女同四月二日出羽守同四年二月十九日越前守

延喜八年正月廿五日左少女同日兼春宮亮八月

廿八日右中女同九年正月七日正五下同十年十

月十五日左中女同十一年正月七日叙從四下二月

十五日大宰大貳同十三年正月廿八日從四上即任

義濃權守十九年正月七日從四上同廿八日任







橋澄清六十一 左大弁 勘長官 播磨權守

藤保忠廿九 右大弁 讚岐權守

中納言 從四位上 良峯衆樹五十九 治部少輔 昔卒 顯三年 參議 四年

藤恒佐四十一 左近中將 備前權守

同云 上 刑部卿六十五 五月廿日 兼近江權守

大納言 從四位上 橘良恒 正月廿日 兼美濃守 宮内 少如元 二月廿八日 卒

源悦五十七 正月廿日 兼伊勢守 九月廿二日 兼宮内少如元

延喜廿一年 己辛 藤忠平四十二 左大將

右大臣 藤忠平四十二 左大將

大納言 從三位 同定方四十七 右大將 按察使 正月七日 正三位

從三位 同清貫五十五 正月七日 叙正三位 正月廿日 任 三月十三日 兼皇太子傳 少如元

中納言 藤仲平四十七 春宮大夫 左兵衛督 正月廿日 遷左衛門督 太如元

從三位 源當時五十五 正月廿日 叙從三位 即任使 別當 五月四日 戌時 薨 七十 少如元 議 十一年 別當 十一

中納言

從三位 源當時五十五 正月廿日 叙從三位 即任使 別當 五月四日 戌時 薨 七十 少如元 議 十一年 別當 十一

中納言



從三位 橘澄清 正位 正月七日叙正四位下世日叙從三位即任之

權中納言 從三位 藤保忠 正位 正月七日叙正四位下廿日叙三位即

參議 同恒佐 正位 左中將正月廿日兼右門督二月四日為使別當

藤玄上 正位 刑部卿近江權守

源悅 正位 正月廿日兼左大臣近江守正位大夫等

從四位下 藤邦基 正位

左大臣二位 良世五男

母助教 從五位下 船副使九女

寬平五年秋文章生字左藤七年八月十六日

彈正少忠九年七月廿六兵部少丞昌泰元年

十一月廿一日從五下 太皇太后宮御給 同二年三月七日能

登權守同三年五月十五日刑部大輔同四年

二月十九日因幡守延喜六年八月廿八日武藏

守七年正月七日從五上同十二年十月五日左少

弁十三年四月十五日右中弁六月廿一日兼木工

頭十四年正月七日正五下二月三日日拜殿同十



五年六月廿五日兼春宮亮

去本三頭

十六年三

月廿五日左中兵亮如元

十七年正月七日從四

下廿一年正月廿日任參議同日轉右大兵

二月十八日從四位下藤兼補

早五

冬辭事同三左大臣冬副曾孫内舍人良門孫

十一月廿一日右近中將利基六男

新正史出八母伴氏

寬平九年七月七日昇殿

元東殿上今月三日踐祚

十年正月廿九日讀岐權掾殿上旁四月八日如故

昇殿昌泰四年二月十九日右工門少尉延喜二

年正月七日從五下

殿上兼藏人旁

二月廿一日昇殿

同三年二月廿六日内藏助七二月廿九日右

兵衛佐助如元

九年正月廿七日藏人十一七從五

上同月右工門佐助如元十三年正月廿一日兼

左少元將十四年正月十二日兼近江公十五年

正月七日正五下十六年三月廿日内藏權頭



十七日正廿九日將正八月廿八日藏人頭十月  
十四日從四下十九年正月廿八日兼備前守  
同日兼左近權中將廿二年正月廿日任參議二  
月七日中將如元

同三年二月廿六日內藏人頭十月廿八日  
年五月廿日將正八月廿八日藏人頭十月  
日長源宮奉御等事

延喜廿二年

右大臣

大納言

中納言

權中納言

參議

藤忠平四十三 左大將

同定方四十八 右大將 按察使

同清貫五十五 民部卿 皇太子傳

同仲平四十八 春宮大夫 左衛門督

橋澄清三十二 日野氏 同廿日 兼備前守

藤保忠三十一

同恒佐四十三 左門督 使別當 正月廿日兼攝廣守



冬 同云上六十七 刑部近江権守

源悦六十七 左大弁近江守

藤邦基四十九 右大弁越前守正月七日日從四上同廿日兼国

同兼輔四十六 左中將備前守正月七日日從四上

同兼輔四十六

大納言四十九

式大臣四十九

延喜廿二年

延長元年廿九年 閏正月十日改元同廿九癸酉立白皇太子 三月廿一日皇太子薨

右大臣四十九 藤忠平四十四 左大将

大納言四十九 同定方四十九

同清貫四十九 東宮傳三月迄秋

中納言四十九 同仲平四十九 春宮大夫三月迄秋

橘澄清四十九

藤保忠四十九 正十三轉正

權中納言四十九 同恒佐四十九 正月十日從三位即任權中納言 督使別當等如元



蘇中書

同玄上

刑及近江守四月廿日 瑞广權守

源悦

左大弁近江守

藤邦基

右大弁正月十日 備前守  
十月廿五日兼勘少由長官

中書言 從四位上

藤扶幹 卒

駿河守從五下 村楳二男

大熊言

母主稅頭榎井忠長女 鳴下

元慶九正十九周防掾二月廿日近江權少掾仁  
和二年二月廿一日中務少丞同三年五月十

七日從五下

御即位陽成院御給

寬平二年二月廿七日兵部

少輔同四年五月廿三日民部少輔七年正月

十一日信濃守昌泰四年正月七日從五上二月

十九日常陸公延喜九年正月十一日上野公十

五年正月七日云云下同十二日權右中弁同十

六年三月廿八日右中弁十七年正月廿九日

兼山城守十一月十七日從四下朔旦冬至同廿一年正

月廿日左中弁同三月十五日兼勘解由長官



廿二年正月七日從四上廿三年正月廿二日任參  
議長官如元四月廿六日兼中宮大夫止長官

藤兼輔四十七左近權中將

從四位下同當轄

右兵衛督良尚九男

母与菅根同

昌泰元年春補文章生字藤興四年正月

廿七日左衛門少尉延喜三年二月兼山城掾同

五月七日補藏人同四年正月七日從五下同

廿五日下野守同九年廿二左工門權佐同十年正月

七日從五上同廿一日昇殿五月廿九日右少兵十

三年四月十五日左少兵十五年正月七日叙正

五下同正月十二日兼山城守六月廿五日兼木工頭

十七年十一月十七日從四下朔旦冬至十八年正月

十二日任右京大夫三月七日昇殿廿一正月廿日

任大宰大貳廿三年正月十二日任參議兼官如元



從四位下藤兼茂

右近中將從四位上利基四男

每

寬平九年七月五日讀岐權掾 同七日藏人同十

年正月廿九日左衛門少尉昌泰四年正月七日

叙從立下同二月廿七日如故昇殿延喜二年

二月廿四日從立上四月廿三日兼播戶女同

十年正月十二日兼左少將十四年正月七日

正五下十五年正月十二日兼備前女十六年三

月廿八日轉權中將十七年正月七日從四下

同十九日昇殿同廿九日兼播戶權守同四月五

日兼齊院長官十八年二月廿九日轉中將十

九年九月十三日兼右兵衛督傳將廿三年正月

十二日任參議右兵衛督如元同三月一日卒

二月於陳座中九 在官三ヶ月







參議

同玄上六十七 刑了正月七日酉下

源悦六十九 左大弁

藤邦基七十一 右大弁勘長官備前權守

同扶鞞七十一 中宮夫二月一日兼讀岐權守

同兼輔七十 故左中將二月一日兼近江守

同當鞞六十 太宰大貳

延長二年

延長二年酉 六月太子薨十月廿日立太子

左大臣 藤忠平四十六 左大將十月廿日兼東宮傳朱雀

右大臣 同定方五十一 右大將六月十八日停皇太子傳

大納言 同清貫五十八 民部

中納言 同仲平 左衛門督按察

橘澄清六十五 五月六日薨生年貞觀三

權中納言 藤恒佐 右工門督

參議 正四位下 源清蔭四十二



孝德天皇第一皇子

母紀氏

延喜三年正月七日從四上同四年十二月廿八日

補次侍從同七年正月十三日信濃權守十月

十日大藏卿十九年正月七日正四下延長三年

正月廿日任參議十一月日兼大藏卿

藤玄上七十刑部正月廿日讚岐守

源悦七十左大臣正月廿日兼讚岐權守

藤邦基右大臣勘長官備前權守十月廿一日兼春宮

藤志左大臣大夫

藤扶幹左大臣中宮大夫正月廿日兼大宰大貳

同兼輔左大臣左近權中將近江守

同當幹左大臣十月十四日兼治部卿

中納言

右大臣

大納言

左大臣



天皇第一

延喜三十五年五月七日從四位上同四年五月廿八日  
同當錄  
十日大藏卿十九日同兼輔  
五月廿日任參議

藤原基

延長四年 戊丙

左大臣

藤忠平 四十七

左大將 皇太子傳

右大臣

同定方 五十三

右大將 正月七日從二位

大納言

同清貫 五十九

民部卿

中納言

同仲平 五十三

左門督 按察使 正月七日

中納言

藤保忠 三十七

權中納言

同恒佐 四十七

右門督

參議

源清蔭 四十三

大藏卿 正月廿九日兼備前  
權守



藤原

藤原玄上

七十四

刑部卿 讚岐守

源中納言

源悦

六十三

左大臣 讚岐權守 正月七日 正下  
同九月止 任伊予守

中納言

藤原基

三十三

右大臣 春宮大夫 備前權守  
勤長官

大納言

同扶幹

六十三

大宰大貳 中宮大夫

式部

同兼輔

三十一

左權中將 近江守

式部

同當幹

六十三

治部少

式部

式部

延長五年刻

左大臣

藤原忠平

六十八

左大將 皇太子傅

右大臣

同定方

六十二

右大將

大納言

藤原清貫

民部卿

正三位

藤原仲平

三十三

正月十二日任

中納言

藤原保忠

三十八

正月十二日兼左門督

同恒佐

同恒佐

四十八

五月十二日轉正右門督如元

權中納言 從三位 同兼輔

正月十二日叙從三位 即任之 起  
大中將 九年



權中納言從三位藤兼輔 正月廿日叙從三位即任

參議 源清茂四 大藏卿備前權守

中納言 藤玄上七五 刑部卿兼近江守

源悅七五 左大弁 讚岐守

大納言 藤邦基七五 右大弁春宮大夫葛長官

同扶幹六五 大貳中宮大夫

從四位上 橘公賴七一

贈中納言廣相六男

日十二日外母左馬頭從四位下惟風王女

寬平八年正月廿二日藏人同廿六日播磨少掾

同九年正月十一日左衛門少尉同十年正月廿

九日轉大尉昌泰二年四月二日從立下即齋院長

官同三年二月廿日兼中務少輔延喜二年九

月十五日任周防權守同六年九月十七日大

宰少貳同七正十三日任備前權守十二年正七

從五位上備前切同月十五日權右少弁十三年四



月十五日右少弁十六年三月八日正五下亭

子院御賀院司

十八年正月十二日左少弁十九年

正月七日從四下同廿八日兼近江權守同九月

十三日任伊与權守同廿年正月世日任右京大

夫二月十七日昇殿廿一年正月世日任左中將

廿二年正月世日任播磨權守廿三年四廿九

兼平入權守延長三正七從四上廿五年五

月十二日任參議治部卿十月十六日兼讚岐守

藤當藤當治部卿十月十六日兼讚岐守

從四位下平伊望四十六

中納言右大將從三位惟範二男

母品彈正尹人康親王女

寬平九正廿聽雜袍下彈正同十一月廿三日從五

下中宮御大掌會元宮殿上人昌泰三五十五尾張權守

延喜五年四五中務少輔同九正十七從五上十

二年二十五兼葛解由長官十三四十五兼



右兵衛佐十六年三月廿日任左衛門權佐九  
月廿二日昇殿十七五廿兼左近權少將同十月  
十七日正五下朔且冬至十八年正月十二日兼讚岐  
權少十九年正月廿八日少將同廿一年正月廿  
從四下同世日兼春宮亮二月七日昇殿三月  
四日藏人頭于時春宮亮左少將廿二年正月  
世兼讚岐守延長元年六月廿六日兼式部  
權大補少將如元同三正世兼中宮大夫止少將五年

正月十二日任參議 大補大夫如元

左大臣

右大臣

大納言

中納言

藤原忠平

同定方

同清實

同仲平

同保志

同通成

同兼光











延長七年丑巳

左大臣正二位 藤忠平辛 左大將太子傳

右大臣正二位 同定方壬 右大將

大納言正三位 同清貫癸 民部卿

同仲平甲 按察使

中納言從三位 同保忠乙 左衛門督

大納言丙 同恒佐丙 右門督

從三位 同兼輔丁



參議 從三位 源悦 六十六 伊予守

正四位下 源清蔭 四十六 大藏卿 備前權守

中納言 兼三位 藤玄上 七十六 刑部卿 近江守

從四上 藤邦基 五十六 左大兵衛督 春宮大夫 正月七日 正  
下同廿九日 兼讚岐權守

大納言 兼五位 藤扶幹 六十六 大宰 大貳 中宮大夫

右大臣 兼五位 橘公賴 五十六 彈正 大弼 播磨權守

左大臣 兼五位 藤當幹 六十六 治部卿 讚岐守

近衛 兼五位 平伊望 四十八 中宮 式部 大輔 越前權守

延長八年 庚寅

九月廿二日 壬午 天皇 禪位於皇太子 八歲  
諱 寬明 廿七日 出宮 御右近衛府 大將 曹司 廿  
九日 朔 歲 四十六 十一月 廿二日 新帝 即位

左大臣 正二位 藤忠平 五十一 左大將 皇太子 傳 廿二日 辭攝  
政 同 十六日 重上表 九月

廿二日 天皇 讓位 勅 攝行政事  
同日 停太子 傳 十二月 十七日  
停大將 依攝行政 所 停也

右大臣 正二位 藤定方 五十六 右大將 十二月 十七日 轉左大將

大納言 正三位 同清貫 六十四 民部卿 六月 廿六日 於清涼  
殿 爲雷公 被震 薨 逝 頭 二年

參議 四年 中納言 九年 大  
納言 十



藤仲平

廿六按察使十二月十七日兼右近大將按察如元

同保忠

十二月十七日任四十一月廿一日正三位

中納言從三位同恒佐

廿一

十二月十七日轉左衛門督

從三位同兼輔

廿五

十二月十七日兼右門督

從三位同邦基

十二月十七日任民部卿如元

參議從三位源悦

廿五

正月八日薨生年齊衡三年丙子在官十二年

正四位下源清蔭

廿七

大藏卿

藤玄上

廿八

刑部卿近江守

同邦基

十月十六日兼民部卿如元十一月廿二日為從三位

同藤扶幹

即位示坊大夫十二月十七日任中納言

從四上藤扶幹

廿七

大宰大貳十二月十七日兼左大夫大貳大夫等止

橘公賴

廿四

彈正大弼播戶權守

藤當幹

廿四

治了少讚岐守

從四上平時望

廿四

中納言從三位惟範一男

母同伊望



寛平四年十一月十日聽雜袍同七年二月  
十七日周防權外同九年七月十三日從五上  
御即位陽成院御給 昌泰三年八月廿日左京亮  
延喜四年二月廿六日民了少捕同八年  
正月七日從五上同八月廿八日大藏少捕  
同十年五月九日左工門權佐十五年六  
月廿五日轉大藏權大捕十六年三月廿  
八日權右少年十七年正月七日正五下

十八年正月十二日權左少年三月廿八日兼造  
東大寺講堂長官十九年正廿八左少年廿二年  
正七從四下同廿日修理大夫廿三年四廿九兼春  
宮亮六月廿七日昇殿延長二年二一兼信濃  
權守同三正世兼伊与守同五二九藏人頭同  
六<sup>正</sup>七從四上六月九日右大弁修理大夫如元同八  
正廿九任矢多議

平伊望  
中宮大夫武部大捕越前權守  
二月廿九日兼備前守

弁大夫如元于時修理太夫亮



寛平四年十一月平野景光  
五月廿五日  
六月廿五日  
七月廿五日  
八月廿五日  
九月廿五日  
十月廿五日  
十一月廿五日  
十二月廿五日

